

すなめり



産廃処分計画は

まだまだ、止まらない・やまらない!

「赤穂の環境を守る会」が産廃の学習市民集会をしたり署名運動等の取り組みを初めてからはや二ヶ月が過ぎようとしています。

並行して赤穂市議会への陳情や赤穂市長そして長岡県議会議員への申し入れなど短期間ではありましたが、すべきこと・やるべきことには最善を尽くしてきました。

また各種団体も16団体(守る会含む)が議会陳情を行いました。赤穂市議会や自治会連合会は、兵庫県に産廃反対の意見書を提出したり、守る会と同じく自治会連合会として産廃反対署名にも取り組んだりしています。このように産廃問

題が全市民の問題として関心が高まっていく中で「もうこれで産廃は、できないだろう。」という安心の機運が拡がりつつあるのが気になります。

企業が優位的立場か?

企業は、県条例や廃棄物処理の法律に沿って事業計画を粛々と進めています。そこで産廃計画を中止させるためには、市民側が法的に欠格事項(事業計画の欠陥や企業の不適格性)を指摘する必要があります。

従って私たちは、企業がこの事業から撤退するまで様々な角度から企業を監視する取り組みを強めこそすれ、緩めるわけにはいきません。私達の生活や街を守るためには、自らが声を上げるしかありません。子どもの未来を守るためにも運動の輪を拡げましょう。

オイル赤穂で産廃いらない!!

第2回「産廃学習」市民集会に約50名参加!!

12月21日市民会館で学習市民集会をしました。奈良県山添村の奥谷和夫さんに産廃処分場(奈良県)の実態とその危険性を話していただきました。

なぜゴミ問題が注目されるか?
燃やす ダイオキシ

ン発生
埋める 硫化水素など発生

排水から、重金属、環境ホルモン類流出
ごく微量で環境や生物、人体に影響

例えば、ダイオキシンの急性毒性は、小学校プールに目薬一滴程度で人体被害

ごみ(廃棄物)発生量
事業系廃棄物 92.5%

家庭系廃棄物 7.5%

どう取り組むか
学びつつ運動を拡げる
一致点で仲間を拡げる
住民運動と世論こそが
運動成功の決定的要因
処分場と法的規制をよく知る

参加者の中から、市民

の関心にはかなりの温度差がある。「環境を守る会」として知らせたり宣伝したりする工夫が、もつと必要との積極的な意見が出されました。

立て看板・のぼり旗 設置場所に協力を

立て看板・のぼり旗を用意しました。よく目につく場所に設置します。どこが良いかお知らせください。設

法的対応に備え



12月18日(水)16時~
姫路総合法律事務所の弁護士さん二人が、産廃予定地を視察しました。産廃処分場建設反対の運動を進める上でトラブルが発生した場合に備え、降りしきる雨の中、現地視察をお願いしました。

置場所所有者の了解折衝もあわせてご協力お願いいたします。

出前学習会

産廃処分場をスライドで観ながら知識とイメージを共有したいと思います。要望に応じて、数人の集まりでもこちらから出かけて行きます。声をかけてください。

他市町の産廃処分場視察計画

産廃処分場とはいったいどういふものか。
「百聞は一見に如かず」視察計画を検討中です。最初の候補地として、奈良県を検討しています。日程とか交通手段など、具体化してから会員の皆様や会員外の方からも参加者を募りたいです。

世話人会にお越しを

「加里屋まちづくり会館」で毎週火曜日午後7時~9時まで世話人会をしています。情報交換や取り組みについて話し合っています。会員の参加を歓迎します。